

WASEDA UNIVERSITY
Institute for Cultural Heritage
INTERNATIONAL SYMPOSIUM

AFTER ANGKOR アンコール以後のカンボジア

—長く、静かだが決定的な社会＝宗教変容を考える—

RE-CONSIDERING THE LONG, SILENT BUT
CERTAIN SOCIO-RELIGIOUS TRANSFORMATION
IN CAMBODIA.

JUNE 8, 2024 Sat. 10:00~17:00
Room 11, Bld 33, Toyama Campus

早稲田大学 青山キャンパス33号館 第11会議室
1-24-1 Toyama, Shinjuku, Tokyo

REGISTER
ONLINE
HERE



AFTER ANGKOR:

RE-CONSIDERING THE LONG, SILENT BUT CERTAIN SOCIO-RELIGIOUS TRANSFORMATION IN CAMBODIA

主催:早稲田大学総合研究機構 文化財総合調査研究所

後援:早稲田大学総合研究機構

お問い合わせ先:E-mail: tabata-y@waseda.jp(田畑)

※発表は基本的に英語で行われます

<午前の部 基調講演>

10:00~10:30 開催趣旨・基調講演者紹介

田畑 幸嗣 (早稲田大学 教授/ 総合研究機構文化財総合調査研究所 所長)

10:30~11:15 [基調講演 1]

マーティン・ポルキンホーン (Flinders University/オーストラリア 准教授)

"Resilience and Relocation: Archaeology of Early Modern Cambodia"

再起と移転: 近世カンボジアの考古学

11:15~12:00 [基調講演 2]

北川 香子(学習院女子大学 教授)

"Introduction of the Correspondence between Cambodia and Japan in the 17th and 18th Centuries"

17・18世紀カンボジアー日本往復書簡の紹介

12:00~13:00 昼休憩

<午後の部 研究発表>

13:00~13:15 挨拶 中川 武(早稲田大学 名誉教授/ JSA/JASA共同代表)

13:15~13:30 田畑 幸嗣(早稲田大学 教授/ 総合研究機構文化財総合調査研究所 所長)

"Discontinuity or Continuity: Post-Angkor Period from the Viewpoint of Material Culture"

断絶か連続か、物質文化からみた後アンコール

13:30~14:00 杉山 洋(龍谷大学 教授)

"Angkor after the 13th century - Focusing on the West Top"

13世紀以降のアンコール ―西トップ遺跡を中心に―

14:00~14:20 休憩

14:20~14:50 佐藤 由似(国立文化財機構奈良文化財研究所 主任専門職)

"Study on the Unearthed Artefacts from the Capitals and its Related Sites after Angkor"

出土遺物から見たアンコール期以降の都市とその近郊遺跡

14:50~15:20 松浦 史明(上智大学 非常勤講師)

"Relations between Cambodia and China in the Transition to the Post-Angkor Period"

ポスト・アンコール時代への移行期におけるカンボジアと中国の関係

15:20~15:30 休憩

15:30~16:00 ニム・ソティーブン(上智大学 アジア人材養成研究センター研究員)

"Agriculture as a factor in the Southward Relocation of Cambodia's 15th century Capital: Recent Archaeological Investigations at Tuol Basan-Srei Santhor"

15世紀カンボジアの南方移転の要因としての農業:トゥール・バサンスレイ・サントー地域における最新考古学成果

16:00~16:30 下田 麻里子(早稲田大学 総合研究機構文化財総合調査研究所 招聘研究員)

"Forms and Changes of Belief: Buddhist Shrines and Stupas in Medieval Theravada Buddhist Temples in Cambodia"

信仰のかたちと変化:中世カンボジア上座部仏教寺院の仏教祠堂とストウーパ

16:30~17:00 ディスカッション

これまで、私達は『出土陶磁器と交易関連文書に基づく前近代日本＝カンボジア間交易・交流史の復元研究』の研究グループとして従来の歴史的枠組みを超え、15世紀から18世紀にかけての文化的な交流に焦点を当て、これまで未解明であった日本とカンボジアの交流の一端を解き明かすべく分野横断的な研究を進めてまいりました。前近代の日本とカンボジアとの関係に新たな視座を与える資料の新発見から、新しい研究の展開が可能になり、出土品と文書を徹底的に分析し、前近代の双方の経済的、文化的な結びつきを詳細に調査・解明し、両国の交流の実態を具体的に提示してきました。また、これが当時の地域全体に与えた影響にも焦点を当て、調査を進めておりました。

この度、これまでの調査研究の成果公開として、特に日本ではあまり注目されてこなかったカンボジア側の歴史変化に焦点をあてたシンポジウムを企画いたしました。本シンポジウムでは、考古学と歴史学の複合的手法を組み合わせた最新の調査成果に基づき、物質文化研究と史料研究の相互作用を通じて新たな歴史像に迫りたいと思います。

本研究の成果が地域史の理解に貢献するだけでなく、グローバルな歴史学・考古学における新たな研究方向を切り拓くことを期待しております。